

参加無料

第2回 とちぎ地域福祉ネット地域共生フォーラム

不登校・ひきこもりから 見えてくるもの

学校や地域社会の中で孤立しがちな子供達や、彼らに関わる周囲の人々に焦点を当て、3名のパネラーによる対談を行います。

どうしたら今の生き辛さを克服し、もっと自分自身を受け入れ、他者との関係性を強めて高めていけるかを模索し、本フォーラムを通して、今より一歩前に踏み出せるきっかけとなれるよう、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和8年3月14日（土）
13：30～16：30

※参加ご希望の方は、下記よりお申し込みをお願いします。

会場

小山市大谷市民交流センター
（小山市大字横倉499-6）



参加申し込み

【MAIL】

iccisknj65@icloud.com



締切 令和8年3月7日（土）

主催：とちぎ地域福祉ネット

とちぎ地域福祉ネットは在宅福祉を中心に据えて、高齢者や障がい者など、ハンディキャップを抱える方々への助け合い活動 continué ながら、共生社会の実現を願い集まった団体のネットワーク組織です。

第2回 とちぎ地域福祉ネット地域共生フォーラム プログラム

- 13:00 開場・受付開始
13:30 第1部 パネラー活動紹介
14:15 休憩(15分程度)
14:30 第2部 パネラー対談
『活動の中で今一番取り組むべきは?』
15:30 第3部 意見交換会
①今、自分に出来る事は何か?
②近い将来やってみたい事は?
16:30 終了予定



パネラー紹介



氏名：土橋 優平（とばし ゆうへい）

青森県八戸市出身、栃木県宇都宮市在住。
2016年にNPO法人キーデザインを設立し、不登校をテーマに活動する。栃木県内に2つのフリースクールをオープン、全国から約5,000の保護者が登録する無料LINE相談窓口「お母さんのほけんしつ」を運営するなど、子どもとその家族の支援に力を入れる。2021年栃木県経済同友会「社会貢献活動賞」を受賞、2025年にはForbesJAPAN「NEXT100」世界を救う100人に選出される。また栃木県内のフリースクールなど支援機関を掲載する不登校ポータルサイト「たより」を手がけ、全国に講演にまわるなど、発信活動にも尽力する。

氏名：佐藤 清子（さとう きよこ）

1949年生れ。2年間の会社勤務を経て、教職に就く。
1980年代の不登校初期の問題に関わる。
興食生活最後の10年間は定時制高校に勤務、不登校を経験した多くの生徒に出会う。
現在は「小山不登校親の会・おやおやの会」に所属。
官民連携を実施・模索中。



氏名：南部 裕子（なんぶ ゆうこ）

2011年双子の出産を機に、多胎サークルを立ち上げる。
2023年にNPO法人とちぎ多胎ネットを設立し、理事長として多胎家庭支援に携わる。
双子が不登校になったことをきっかけに、不登校の子どもや家族の居場所を作ろうと「小山不登校親の会・おやおやの会」でスペースおやおやを開催。さらに不登校の親子で参加出来る野菜作りや地域食堂「なないろファーム」を開設。

